

科学者委員会学術誌問題検討分科会（第8回）議事録

日時：平成22年2月2日（火）17:00～19:00
場所：日本学術会議 5-A（1）会議室
出席者：浅島委員長，山本（眞）副委員長、玉尾幹事，西郷幹事，田口委員，
山本（正）委員，植田委員，深澤委員，谷藤委員，永井委員，林委員
事務局：古西参事官，兼平専門職，鳥生専門職，中島調査員 他

配布資料：

資料1 前回議事要旨（案）

資料2 提言案

資料3-1 学術誌に関するアンケートへの回答のお願い

資料3-2 学術誌に関するアンケート結果への中間報告

資料4 今後の進め方について（案）

参考1 委員名簿

参考2 学術誌問題の論点について（第1回分科会資料4）

参考3 「学術誌問題検討分科会」

－これまでの検討状況と提言の骨子－（総会資料）－

参考4 簡易版ロードマップ及び具体的支援策

議事

1. 前回議事要旨（案）の確認

2. 西郷幹事より、資料2に基づいて説明

前回以降、ご意見を基に第3案を作成。「提言の効果」を記述する必要性に気づいた。

追加項目

（1）オープンアクセスについて

（2）提言効果について

（3） 包括的コンソーシアムを提言するも、その具体的内容がまだ何も提言できていない。

（4） 科学技術振興調整費を視野に入れたロードマップ、特に JST, NII などの棲み分け。

これを受けて、浅島委員長から、提言の内容全体のオーバービュー。

続いて、上記4項目について個々に議論

（1）オープンアクセス（OA）について

山本（眞）副委員長からの意見：「文系ではまだまだここまでの段階になく、OAの記述

は結構だが、法律化するなどは、好ましくない。」

西郷：OAには2種類ある。Golden Road と Green Road。ここでは後者を主張、公開システムとして機関リポジトリを充実し、国民の知る権利を保障するシステムを構築する必要あり。

浅島：議論を受けて、分野による成熟度や理解度を考慮、尊重して全体像を記述することとする。

(2) 提言の効果の内容について

(資料3-2) 学術会議からのアンケート、1729件に発送、885件回答。回答内容要点について、永井委員から報告。

350タイトルの賛同があれば、本提案を実施に移せる。

提言内容の実施時期は未定、と答えざるをえない段階。

緊急かつ、効果についてはポジティブにとらえている。

(3) 包括的コンソーシアムの構成と内容について

省庁も超えて効果を持たすための包括的コンソーシアムの構築が必要。今後、事務局とも相談。

(4) 科学技術振興調整費：23年度から獲得することを視野に入れて取り組む。このために何をすればよいか。2月にインプット、4-6月には具体案必要。これに対応する。

事務局：学術会議は提言機関。提言を総合調整する機関である総合科学技術会議で扱う方向が金澤会長が言及された。しかし、そちらの事務局では、科学技術振興調整費には不似合いではないか、との感想。個別に文科省などが対応すべきものではないか。ロードマップを明確にし、国民にも理解できるような提言になっていることが望まれる。

浅島：もし、国の予算で実施したとして、5年後の自立仕組みも持たなければならない。参考資料4のデータを説明。

(2)(3)を含めたロードマップを、4-6月までには作成しなければならない。

事務局：しっかりとしたロードマップを作成しないと取り組めない(参考4はロードマップたりえない)、人件費が過重で事業として成り立たない。ジャーナル販売収入の概算、それによる人件費の補填、数年後には自立できる案が必須、だが、それ以上にもたらす波及効果が含まれていなければならない。

浅島：提言した以上、実現できるようにフォローアップすることも必要。そこまで言及することが必要。

山本：JSTのJ-StageとNIIのSPARC JAPANの統合が謳われているが、両機関には相談しているのか？

西郷：何もやっていない。

事務局：委員の責任をもって具体案の提言でなければ意味がなからう（最終的には学術会議の責任での提言）。

3. 取りまとめに関する今後の取り組みについて

- (1) 包括的コンソーシアムの組織、機能とその効果の明確化をWG2でしっかりと確定しないと、提言が完成しない。設置場所についても決まっていない。
- (2) 4月総会では進捗状況報告にとどめる。
- (3) 2月末までに提言最終案を作成する。科学者委員会での査読もその後にお願い。
- (4) 3月か4月の幹事会での査読を経て提言とする。
- (5) 関係機関との調整も必要。
- (6) 次回3月9日第9回分科会までに最終版を作成。
- (7) 振興調整費に申請すべく、会長に頭だしをお願いする。

4. その他

永井委員：SPARCJapan セミナーの会合の報告。論文発表数米国に次ぐ世界トップ2の位置を維持している。資料が配布された。

5. 今後の予定について

第9回 3月9日（火） 17：00-19：00

以上